

## 神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond 来場者投票で選出される「オーディエンス大賞」発表 中村萌・奈良美智が同率1位！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝)は、現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond」の開催に合わせて、2025年8月23日(土)から11月30日(日)までの期間で来場者投票を実施し、「オーディエンス大賞」を選出しました。

今回は全展示作品(61組63作品)を対象に、1,486件の投票がありました。

集計の結果、第1位の票数が同数となったため同率1位とし、以下の通り順位が決定しましたのでお知らせいたします。



中村萌《Silent Journey》 撮影:高嶋清俊



奈良美智《Peace Head》 Artwork:©Yoshitomo Nara



岩崎貴宏《Floating Lanterns》 撮影:高嶋清俊

### 神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond 「オーディエンス大賞」受賞アーティスト

※敬称略・50音順

**第1位 中村萌《Silent Journey》**

展示場所: 六甲高山植物園

**第1位 奈良美智《Peace Head》**

展示場所: ROKKO 森の音ミュージアム

**第3位 岩崎貴宏《Floating Lanterns》**

展示場所: 風の教会エリア

※受賞アーティストのプロフィール、受賞作品についての情報は2ページ目をご覧ください。

#### 【資料に関するお問い合わせ】

神戸六甲ミーツ・アート事務局

TEL:078-891-0048 (平日10:00~17:00)



公式 Web サイト

## 第1位: なかむらもえ 中村萌 《Silent Journey》

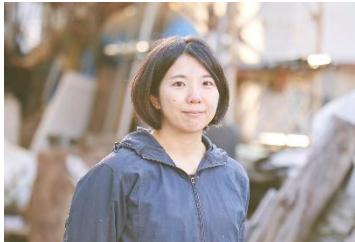


Photo by 浦野航気

### <主な投票理由>

- ・木のあたたかみ、やさしさを感じる
- ・自然の妖精みたいで可愛かった など

### <プロフィール>

1988 年東京都生まれ  
2012 年女子美術大学大学院美術研究科美術専攻修了

楠などを丸太の状態から削り出し、油絵具で彩色する手法で制作を行う。幼いころから描いているという、自身を投影した不思議な姿をした作品を、平面や彫刻で発表している。

21 年には東京のポーラ ミュージアム アネックスで、自身にとって国内初となる大型個展「our whereabouts - 私たちの行方 -」を、ギャラリー椿の個展「inside us」と同時期に開催。これまで、「House of the Rising Light | Group Show」(ドロシーサーカスギャラリー、ローマ、ロンドン)、ART OSAKA 2021(大阪市中央公会堂)、六甲ミーツ・アート芸術散歩 2020(兵庫) など数多くの展覧会や芸術祭に参加。

中村の作品たちの曖昧な表情と感情は、観る人が自身の記憶を通し作品と作家の世界観にそれぞれの形で共感する事ができ、国籍を問わず多くの人を惹きつけている。

## 第1位: ならよしとも 奈良美智 《Peace Head》



Photo: Ryoichi Kawajiri  
Artwork: © Yoshitomo Nara

### <主な投票理由>

- ・神戸にあることに意味をかんじた
- ・大きくてインパクトがあってよかった など

### <プロフィール>

1959 年 青森県生まれ  
1987 年 愛知県立芸術大学修士課程修了

1988 年渡独、国立デュッセルドルフ芸術アカデミー在籍終了。ケルン在住を経て 2000 年に帰国。1990 年代半以降からヨーロッパ、アメリカ、日本、そしてアジアの各地で規模に関わらず様々な場所で展示発表を続ける。見つけ返すような印象的な絵画、日々自由に描き続けるドローイング作品のほか、木、FRP、陶、ブロンズ、そしてインスタレーションなど多様な素材や空間に生命を吹き込むような彫刻作品を制作。また、制作の日々や旅先での出会いを収めた写真作品も発表している。

作品はニューヨーク近代美術館、ロサンゼルスカウンティ美術館、ボストン美術館、ナショナルギャラリー(ワシントン D.C.) 大英博物館(ロンドン) など世界中の美術館に所蔵されている。

## 第3位: いわさきたかひろ 岩崎貴宏 《Floating Lanterns》



Photo: Nina Johnson

### <主な投票理由>

- ・破壊された建築物と教会、十字架の対比が印象深い
- ・震災のことを伝えられているから など

### <プロフィール>

1975 年 広島県生まれ  
2005 年 エジンバラ・カレッジ・オブ・アート MFA 修了

1975 年広島県生まれ、広島県在住。広島市立大学芸術学研究科博士課程修了。エジンバラ・カレッジ・オブ・アート大学院修了。2017 年には、第 57 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表に選出され、個展「逆さにすれば、森」(2017 年) が開催された。その他、近年の主な個展として、2023 年ポートランドの日本庭園美術館にて個展、2015 年、ニューヨークのアジアソサイエティにて個展、同年、黒部市美術館と小山市立車屋美術館で個展を開催。主な受賞歴に、第 68 回芸術選奨文部科学大臣新人賞(2018 年)、タカシマヤ美術賞(2023 年) などがある。ヴィクトリア国立美術館、金沢 21 世紀美術館など国内外の美術館に作品が収蔵されている。